

キッズみんなの日記

12月号

みなさんの文章を書く力が伸びてきたとしみじみ感じる多くの頃ですが、現学年の仕上げとして**高学年(四～六年生)**は作文に挑戦してみようと思います。**低学年(一～三年生)**はいつも通りの日記が課題となります。**ただし、低学年も10分間で日記を書く訓練をしよう**。ご家庭でも説明いただき、ご協力をお願い申し上げます。高学年といえども、作文に挑戦するのは、今月初の試みですから、とにかく制限時間内に決められた題材で目標の字数を目指して書いてみましょう！

- ・題材…①『友だち』②『今、一番気になること』
- ・制限時間…10分を目標に、10分以内で書く！
- ・字数の目安…低学年【2400字以上】高学年【4000字以上】
- ・消しゴムは使わず、書き終わって読み返し、間違いやおかしいところを知りたしたら、鉛筆で横に直して構いません

高学年(四～六年生)は**十二月の中間(12/7～12/18)**は次の①と②の二つの題材に取り組んでみましょう。一週目と四週目はいつも通りの日記で構いません。題材と書き方のヒントを記しておきます。

【題材と書き方のヒント】

- ① 題材…『友だち』
 - ・だれたらいい。
 - ・いつから、友だちなの？
 - ・どうして、仲良くなったの？
 - ・友だちはどんな子かな？
 - ・どんな時に、どうしてその思うのかな？
 - ・自分はその友だちをどう思っている？
 - ・友だちは自分のことをどう思っているのかな？
 - ・友だちって何だ？
- ② 題材…『今、一番気になること』
 - ・一番気になることって何？
 - ・それは、なぜなの？
 - ・たこえは、……？
 - ・もし、……(想像しながら書いてみよう)
 - ・だから、……(どうすればいいかな？)



10分間は、**週始めの授業内の10分を使って、担任の先生(国語担当)**が**低学年は日記、高学年は作文**に取り組みます。最後まで書き上げられなくても、その日は終了です。最後まで書きなかつた人は、翌日でも家で10分間、同じ題材に初めから取り組んで下さい。10分で書き上げられなかったら挑戦して下さい。同じ題材でも、その日の気分によって違った文章になったり、また、昨日は思いがなかったことを今日は思いがてした文章を書くこともあります。そうして、文章を書くときの物事の伝え方を学ぶのはとても重要なことですね。タラタラと時間をかけるのではなく、制限時間内に頭の中にある考えを文章に変換していくことが、最初のステップです。三学期も続けて、段階的にステップアップしていきます。

優秀作品紹介

『おや子サッカー』

きょうは、たのしみになっていたおや子サッカーです。だい七回目でした。
お母さんと対決しました。お母さんもぼくも必死でがんばりました。お母さんも強かったし、ぼくもお母さんに負けないくらい強かったから楽しかったです。
らい年のだい八回目のおや子サッカーはともたのしみです。(小一・YS君)

S君とお母さんが、本気で試合に取り組む様子が生き生きと表現されていますね。「理由」「気持ち」の形でなぜ楽しかったのかをしっかりと述べています。最終段落も来年への期待でうまくまとめてあります。お見事！

『ぶくしまけんつたのしいー』

十九日にぶくしまけんにいきました。金曜日だったので学校がおわって急いで行きました。わたしは、たのしみだったので(まだかなあ。)と思っていました。わたしは思ったより時間がかかりました。でも、お父さんが急いでいてくれたので、三時間ぐらいいかるよといが、なんと二時間つきました。

むこうについてから、しょくじをしました。しゃぶしゃぶやロブスターが中でもおいしかったです。おなかいっぱいになるまで食べたので、パップと行動できませんでした。それでも、わたしと妹は、
「こんどはプールね。」
「はやく、行くよ。」
とせかしてしまいました。お母さんとお父さんは、
「もう少しゆっくりしてからね。」
と言って、なかなか行くこととせませんでした。それなので、くすぐりがきくお父さんをくすぐりました。すると、お父さんは、
「行く！行く！行く！行くから！」
と言っていました。そして、プールに行くことになりました。



プールは広くて、さいしょにどこにいこうかまよいました。でも、わたしは、一番おもしろそうなスライダーにのりました。ぐるぐるまわって、気持ちわるくなりそうでした。つぎの日、たくさんあそんで帰りました。お父さんは、「つぎの旅行はどこに行く？」
と、つぎの旅行の計画まで立てようとしていました。わたしは、つぎはどこにいくなかと、旅行先をきくのが楽しみです。(小三・NAさん)

どのくらいお腹いっぱいなのか、どんなスライダーなのか、とてもわかりやすく表現していますね。見習いたいテクニックです！Aちゃんと家族の微笑ましいやり取りも、セリフを交えて実に生き生きと描かれています。まるでドラマのワンシーンを見ているような楽しい文章に仕上がりました。

『友達と私だけの自由帳』

わたしの方から自由帳を用意して友達とわたしだけの自由帳を作りました。けいこうペンで、動物を書いたり、へんなおじさんを書いたりしています。一番おもしろく書けたのは動物のうさぎでした。

友達と同じはんなので、その自由帳で友達と前より仲良くなりました。その友達はいつでもにっこり笑ってくれます。わたしは、五年生になっても、クラスがはなれてしまっても、ずっとわすれられないお友達になると思っています。自由帳はずっと大事に持っておきたいです。(小四・NMさん)

『ジャズフェスティバル』

今日、ダンスの発表会がありました。今日のために三ヶ月間練習してきたので、本番でがんばりたいと思いました。きんちようもしていました。他の子を見ていると、あつという間に順番がきてしまいました。舞台上に立つ直前、最初よりドキドキしていました。

いよいよ私たちの順番です。最初の位置に着くと音楽がなりだしました。一番始めのプリは、心臓の音を出すようなプリで、踊っているとき、音楽と同じように心臓がバクバクなっていました。

私は、二曲目と三曲目は、なるべく笑ってせいっぱいおどりました。

踊り終わってロビーに行くとお母さん達が集まっています。そこに南帆ちゃんが来ていました。見に来てくれたのでうれしかったです。花束もかわいくうれしかったです。楽しかったです。(小五・KMさん)

発表会まで三ヶ月も練習に励んだMちゃん、頑張りましたね！頑張ったからこそ、成功させたという気持ちが強くなり、緊張もしますよね。そんな、緊張感を「たこえ」や「擬態語」を使って見事に表現しています。是非、参考に！

●今月の『伊藤先生のさすめ本』、紙面の都合によりお休みさせていただきます。あしからずご了承ください。来月号をお楽しみに！